

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月28日

上場会社名 株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント 上場取引所 東
 コード番号 2124 URL http://corp.jac-recruitment.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長○○○ (氏名) 松園 健
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長CFO 管理本部長 (氏名) 服部 啓男 (TEL) 03-5259-6926
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	2,184	27.4	683	41.1	685	41.4	416	45.2
25年12月期第1四半期	1,715	23.1	484	124.6	485	120.4	287	177.7

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 416百万円 (45.2%) 25年12月期第1四半期 287百万円 (177.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	20.65	—
25年12月期第1四半期	14.35	14.34

(注) 当社は平成26年1月1日付で株式1株を3株に分割いたしましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。なお、平成26年12月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	5,296	4,335	81.9
25年12月期	5,660	4,241	74.9

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 4,335百万円 25年12月期 4,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	48.00	48.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は平成26年1月1日付で株式1株を3株に分割いたしました。このため、平成26年12月期(予想)における期末配当金については、当該株式分割後の数値で算定しております。

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,330	22.1	1,302	36.0	1,305	36.3	751	35.4	37.23
通期	8,592	19.7	2,239	10.9	2,240	10.8	1,251	4.8	62.01

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は平成26年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式を分割いたしました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	20,646,000株	25年12月期	20,646,000株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	472,089株	25年12月期	472,089株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	20,173,911株	25年12月期1Q	20,001,210株

(注) 当社は平成26年1月1日付で株式1株を3株に分割いたしましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループのセグメント区分は、経営単位である拠点・会社別に記載しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外情勢の一部に不安定要素はあったものの、国内における景気浮揚策の奏功及び米国経済の回復傾向を受けて企業の求人意欲は改善が続き、2月の有効求人倍率は1.05倍と6年半ぶりの高水準となりました。また、当社グループの業績は、中高額帯並びに専門性の高い求人案件への事業シフトがマーケットニーズの実態に添う形となり、売上高は当初の計画に沿う進捗で推移いたしました。

今年度の人材紹介事業における当社グループの経営方針は、過去4年間、全社で徹底的に取り組んできた以下の「PPP&I」を根幹としながら、コンサルタントのプロ化と、プロがその実力をさらに発揮できる組織環境の整備を同時に進めるために「Professionals, Team Value and Expansion(個人はプロに/チームで勝って/拡大につなぐ)」を全社のキーワードとしております。

- ① Productivity 「生産性の向上」
- ② Profitability 「利益の絶対額と利益率の向上」
- ③ Professional 「人材紹介コンサルタントのプロフェッショナル化」
- ④ International 「日系企業の海外関連求人、外資系企業求人、グローバル人材領域の強化」

「Professionals」に関しましては、引き続きコンサルタントの生産性並びに担当求人等の決定率向上を図っております。当第1四半期連結累計期間におきましても前年同四半期比でそれぞれに改善を示しており、取り組みの成果は実績として表れております。

「Team Value」に関しましては、組織予算の達成をより重視した、強固な社内体制を構築することで売上の増大を図ってまいります。そのために、今年度から新たな組織目標達成報酬を制度化したほか、コンサルタントへのサポート体制を充実させて、業務効率の向上に取り組んでおります。

「Expansion」に関しましては、今後も景況感の変化に注意は怠らないものの、注力分野への集中と浸透を重視しながら人材紹介事業の積極的な拡大を図ってまいります。また、平成25年12月に全株式を取得して子会社化した株式会社シー・シー・コンサルティングを主体とする求人広告事業につきましても、主に外資系企業を顧客とする求人サイト「キャリアクロス」を中心に、International領域の事業開拓を図っていく計画で、当第1四半期連結累計期間において、同社の業績は当初の計画に沿って順調に推移しております。

一方、経費につきましては必要最低限の水準で推移しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,184百万円(前年同期比27.4%増)となりました。セグメント別売上高は、東京本社が1,215百万円(同23.9%増)、横浜支店が125百万円(同18.2%増)、名古屋支店が112百万円(同13.6%減)、大阪支店が403百万円(同21.4%増)、京都支店が65百万円(同6.3%増)、神戸支店が69百万円(同47.7%増)、JAC Internationalが113百万円(同98.8%増)、シー・シー・コンサルティングが78百万円となっております。

利益面では、営業利益は683百万円(前年同期比41.1%増)、経常利益は685百万円(同41.4%増)、四半期純利益は416百万円(同45.2%増)となりました。セグメント別損益は、東京本社が410百万円(同36.2%増)、横浜支店が39百万円(同47.1%増)、名古屋支店が26百万円(同42.1%減)、大阪支店が131百万円(同40.3%増)、京都支店が22百万円(同18.8%減)、神戸支店が29百万円(同157.2%増)、JAC Internationalが13百万円(前年同期は△23百万円)、シー・シー・コンサルティングが12百万円となっております。

なお、前連結会計年度末より株式会社シー・シー・コンサルティングを連結子会社として連結の範囲に含めたことに伴い、「シー・シー・コンサルティング」を報告セグメントに追加しております。このため、「シー・シー・コンサルティング」並びに「求人広告事業」の前年同期比については記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの売上実績は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
東京本社	1,215	123.9
横浜支店	125	118.2
名古屋支店	112	86.4
大阪支店	403	121.4
京都支店	65	106.3
神戸支店	69	147.7
JAC International	113	198.8
シー・シー・コンサルティング	78	—
合 計	2,184	127.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

なお、事業別・業界部門別に示すと、以下のとおりであります。

事業・業界部門	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
1. 人材紹介事業		
電気・機械・化学業界	756	134.8
消費財・サービス業界	545	120.6
メディカル・医療業界	412	148.3
I T・通信業界	197	92.0
金融業界	185	99.5
その他	8	38.2
人材紹介事業 計	2,105	122.8
2. 求人広告事業		
求人広告事業 計	78	—
合 計	2,184	127.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金405百万円減少、売掛金113百万円増加、繰延税金資産(流動)75百万円減少等により、前連結会計年度末に比べて364百万円減少の5,296百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等356百万円減少、未払費用329百万円減少、賞与引当金236百万円増加等により、前連結会計年度末に比べて458百万円減少の961百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益416百万円、剰余金の配当322百万円により、前連結会計年度末に比べ93百万円増加の4,335百万円となり、自己資本比率は81.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の連結業績予想につきましては、第2四半期(累計)、通期ともに平成26年1月30日開示の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,915	3,510
売掛金	461	575
貯蔵品	0	0
前払費用	50	73
繰延税金資産	210	135
その他	23	13
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	4,659	4,305
固定資産		
有形固定資産		
建物	171	171
減価償却累計額	△107	△110
建物(純額)	63	61
車両運搬具	11	11
減価償却累計額	△10	△10
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	225	219
減価償却累計額	△191	△187
工具、器具及び備品(純額)	33	31
リース資産	11	11
減価償却累計額	△6	△6
リース資産(純額)	4	4
建設仮勘定	-	8
有形固定資産合計	103	105
無形固定資産		
のれん	601	587
商標権	0	0
ソフトウェア	23	20
その他	4	9
無形固定資産合計	630	617
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	0	0
敷金及び保証金	251	250
長期前払費用	1	2
繰延税金資産	14	12
長期未収入金	15	15
その他	1	1
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	268	266
固定資産合計	1,001	990
資産合計	5,660	5,296

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	20	12
リース債務	2	2
未払金	171	128
未払費用	458	129
未払法人税等	554	198
未払消費税等	111	88
預り金	38	59
前受収益	42	78
賞与引当金	-	236
解約調整引当金	16	22
流動負債合計	1,415	957
固定負債		
リース債務	3	2
役員退職慰労引当金	1	1
固定負債合計	4	3
負債合計	1,419	961
純資産の部		
株主資本		
資本金	619	619
資本剰余金	785	785
利益剰余金	2,877	2,971
自己株式	△41	△41
株主資本合計	4,241	4,335
純資産合計	4,241	4,335
負債純資産合計	5,660	5,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,715	2,184
売上原価	44	41
売上総利益	1,670	2,142
販売費及び一般管理費		
役員報酬	55	73
給料及び手当	522	584
法定福利費	88	119
退職給付費用	15	16
賞与引当金繰入額	91	236
貸倒引当金繰入額	-	0
地代家賃	99	103
減価償却費	15	11
広告宣伝費	92	120
その他	204	193
販売費及び一般管理費合計	1,185	1,458
営業利益	484	683
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	-	0
設備賃貸料	0	0
未払配当金除斥益	-	0
還付消費税等	-	0
貸倒引当金戻入額	-	0
その他	0	0
営業外収益合計	0	2
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	-
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	485	685
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	483	685
法人税、住民税及び事業税	108	191
法人税等調整額	88	77
法人税等合計	196	268
少数株主損益調整前四半期純利益	287	416
四半期純利益	287	416

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	287	416
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	287	416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287	416
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								報告セグメント計	調整額	合計
	東京本社	横浜支店	名古屋支店	大阪支店	京都支店	神戸支店	JAC International	シー・シー・コンサルティング			
売上高											
外部顧客への売上高	980	106	130	332	61	47	57	—	1,715	—	1,715
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	980	106	130	332	61	47	57	—	1,715	—	1,715
セグメント利益又は損失(△)	301	26	45	94	27	11	△23	—	483	—	483

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								報告セグメント計	調整額	合計
	東京本社	横浜支店	名古屋支店	大阪支店	京都支店	神戸支店	JAC International	シー・シー・コンサルティング			
売上高											
外部顧客への売上高	1,215	125	112	403	65	69	113	78	2,184	—	2,184
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	—	—	—	—	0	2	5	△5	—
計	1,217	125	112	403	65	69	114	81	2,189	△5	2,184
セグメント利益	410	39	26	131	22	29	13	12	685	—	685

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. シー・シー・コンサルティングの報告セグメントには、のれん償却額13百万円が含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末より株式会社シー・シー・コンサルティングを連結子会社として連結の範囲に含めたことに伴い、「シー・シー・コンサルティング」を報告セグメントに追加しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により組み替えて表示しております。また、同社の連結子会社化に伴い、セグメント間の収益・費用の管理方法の見直しを行い、これまで報告セグメントの売上高として表示していなかったセグメント間の売上を内部売上高として表示する方法に変更しております。この変更に伴う、前年同期のセグメント間の内部売上高及び利益又は損失に与える影響はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。